

激走!! 新春の原城路

〜2月28日 原城周辺〜

春の訪れを告げる原城マラソンが、「原城跡」をメインコースに行われました。第20回となる今回は、31種目に1,326人が出場。先頭グループでは、緊張感漂う先頭争いが繰り広げられる一方、ファミリーの部では、お母さんが、子どもに「早く来て」とせかされる場面もあるなど、ランナーはそれぞれのペースでレースを楽しみました。来年からは、ハーフマラソンも含めての大会としてスタートするべく、現在準備が進められています。

なお、南島原市出身の各種目の優勝者は次のとおり。

- 2 km小学生男子6年①高木駿(有馬小) / 3 km中学生女子①中村仁美(北有馬中) / 3 km高校生女子①植木那菜(口加高) / 3 km女子19歳①馬場里子 / 5 km高校生男子①安達公人(鎮西学院) / 5 km男子19歳①中村哲哉 / 10 km高校生男子①種山春樹(口加高) / 10 km男子19歳①永友直樹(八幡倉) / 10 km男子40歳①松尾謙(山陰会)



それぞれの想いを刻む

〜2月27日から3月7日 セミナリヨ版画展〜

ありえコレジヨホールでセミナリヨ版画展が行われ、県内外から応募のあった4,448点のうち、優秀作品520点が展示。来場者は、丁寧に彫りこまれた版画に見入っている様子でした。

2月27日に行われた開場式では、セミナリヨ大賞などの入賞者の表彰が行われました。当日は、審査員長小崎侃先生による各出品作品の講評も行われ、丁寧な説明に、出品者は熱心に聞き入っている様子でした。

第1部門 柿添 翔太(熊本) 「待ちに待った稲の収穫」



第2部門 木下 早優理(長崎) 「家族」



第3部門 伊藤 大吉(有家町) 「収穫」



左から伊藤さん、松島市長、木下さん、柿添さん

色とりどりのひょうたんに感嘆

〜3月6日・7日

北有馬ピロティー文化センター日野江



今年で12回目となる有馬ひょうたん展が行われました。何度も重ね塗りをしたもの、ラップシールドに加工されたものなど約500点を展示。来場者を魅せました。ほとんどのひょうたんは、栽培から行っているそうです。

地球のために、がんばります

〜学校版ISO認定〜

2月17日、有馬小学校が、「南島原市学校版ISO」に認定。認定証の交付式が行われました。



これは、長崎総合科学大学と連携して市独自の仕様を策定したもので、同校が認定第1号となります。

「飲みがきは、コップ一杯半の水を使います」などの6つの目標を掲げ、児童それぞれが実践。グラフ化し、1カ月ごとに検証したものをともに審査しました。

大きく育て、私たちの森

〜3月5日 口之津町富士山(権現山)〜

口之津町の富士山(権現山)登山道沿いで、第1回市民の森植樹祭が行われ、落葉樹の苗木500本の植樹を行いました。



これは、南島原森林ボランティア協議会が、口之津小学校の5・6年生と協働で行ったもので、150人が参加。児童らは、元気に育つことを祈りながら、一本一本丁寧に、ヤマザクラ、クヌギなどを植えました。

すてきなひまわりをパシヤリ

〜3月9日 市役所(西有家庁舎)〜

「ひまわり写真コンテスト」の表彰式が行われ、加津佐フォトクラブの会長でもある林川久さんの「歓喜のひまわり」が最優秀賞に選ばれました。



優秀賞には有家町の荒木弘富さん、佳作には深江町の大河憲二さんが選ばれました。作品は、市役所(西有家庁舎)に展示していますので、来庁の際はぜひご覧ください。

41年間の歴史に幕

〜2月20日 西有家総合学習センター〜

平成22年3月をもって閉園する西有家幼稚園の記念式典が行われました。

昭和44年4月に開園した同幼稚園の卒園児は2,042人。

3月31日、41年間の歴史に幕を閉じました。



ジオパークの記念切手発売 80円切手10枚で1,200円。贈りものなどにいかがですか?

100歳おめでとうございます

〜いつまでもお元気で〜

中山 市男さん(口之津町) 明治43年3月16日生まれ



友永フシ子さん(口之津町) 明治43年3月8日生まれ



宝くじ助成事業で太鼓を購入

〜平成21年度一般コミュニティ助成事業〜

深江町で活躍する太鼓演奏団体「和道・深江太鼓保存会」が、平成21年度一般コミュニティ助成事業で新しい太鼓を購入しました。

昭和57年に発足した同保存会は、地元老人会や子ども会と催し物を開催し、地域との親睦・連携に深く寄与してきました。今回、新しい太鼓を購入したことで、地域のイベント活動や文化活動、子どもたちの健全育成が期待されます。



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。宝くじは、広く社会に役立てられています。